

### 令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストにおける 得点調整の対象教科・科目について

令和3年12月17日  
独立行政法人大学入試センター

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト（以下「令和7年度共通テスト」という。）における得点調整の対象教科・科目は、別紙の考え方にに基づき、以下のとおりとする（別表参照）。

- (1) 地理歴史の『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『旧世界史B』，『旧日本史B』，『旧地理B』の間
- (2) 公民の『公共，倫理』，『公共，政治・経済』，『旧現代社会』，『旧倫理』，『旧政治・経済』，『旧倫理，旧政治・経済』の間
- (3) 数学のグループ①の『数学Ⅰ，数学A』と『旧数学Ⅰ・旧数学A』の間
- (4) 数学のグループ②の『数学Ⅱ，数学B，数学C』と『旧数学Ⅱ・旧数学B』の間
- (5) 理科の『物理』，『化学』，『生物』，『地学』の間
- (6) 情報の『情報Ⅰ』と『旧情報（仮）』の間

（注1） 得点調整を実施する場合の条件や方法については，別途定める。

（注2） 現行の大学入学共通テスト（平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に対応した大学入学共通テスト）では，『倫理，政治・経済』を得点調整の対象に含めていないが，令和7年度共通テストにおいては『旧倫理，旧政治・経済』を得点調整の対象科目とする。

(別表)

## 令和7年度共通テストにおける得点調整対象科目について

※ 黒枠で囲っている科目が得点調整対象科目である。

	現行の試験	令和7年度試験	
		経過措置科目	新教育課程科目
国語	『国語』	—	『国語』
地理 歴史	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『世界史B』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『日本史B』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『地理B』</div> 『世界史A』 『日本史A』 『地理A』	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『旧世界史B』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『旧日本史B』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『旧地理B』</div> 『旧世界史A』 『旧日本史A』 『旧地理A』	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『地理総合, 地理探究』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『歴史総合, 日本史探究』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『歴史総合, 世界史探究』</div> 『地理総合, 歴史総合, 公共』
公民	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『現代社会』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『倫理』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『政治・経済』</div> 『倫理, 政治・経済』	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『旧現代社会』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『旧倫理』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『旧政治・経済』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『旧倫理, 旧政治・経済』</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『公共, 倫理』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『公共, 政治・経済』</div> 『地理総合, 歴史総合, 公共』
数学 ①	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅰ』	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『旧数学Ⅰ・旧数学A』</div> 『旧数学Ⅰ』	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『数学Ⅰ, 数学A』</div> 『数学Ⅰ』
数学 ②	『数学Ⅱ』 『数学Ⅱ・数学B』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	『旧数学Ⅱ』 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『旧数学Ⅱ・旧数学B』</div> 『旧簿記・会計』 『旧情報関係基礎』	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』</div>
理科	『物理基礎』『化学基礎』 『生物基礎』『地学基礎』 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『物理』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『化学』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『生物』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『地学』</div>	—	『物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎』 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『物理』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『化学』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『生物』</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">『地学』</div>
外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	—	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』
情報	—	『旧情報(仮)』	『情報Ⅰ』

## 令和7年度共通テストにおける得点調整の対象教科・科目の考え方

### 1. これまでのセンター試験及び共通テストにおける科目選択及び得点調整

- 大学入試センター試験（以下「センター試験」という。）及び大学入学共通テスト（以下「共通テスト」という。）においては、これらの試験を利用する各大学に対し、受験者の得点を、正答した設問に割り振られた配点を足し上げた素点で提供することを前提に、試験問題の作成及び答案の採点を行ってきた。

このような試験においては、実施結果により各受験者の素点を調整することはできるだけ行わないようにすべきであり、大学入試センターは、各教科・科目間に著しい平均点差が生じないように、試験問題の作成・点検の段階でできる限りの努力を払うことを基本として、試験問題を作成してきた。

- センター試験及び共通テストは50万人を超える多様な受験者が受験してきた。高等学校の段階における基礎的な学習の達成の程度を判定し、大学教育を受けるために必要な能力を把握するという目的の下、学習指導要領の教科・科目構成や大学の要請に基づき、かつ多様な受験者の受験を可能とするよう、教科によっては複数の科目を出題し、受験者が受験科目を選択することとしてきた。また、出題内容については、不断の改善を図る必要がある。

受験者が、大学進学後の必要性や関心等に応じて科目選択をできるようにするためにも、また科目選択をめぐる不公平感や混乱等を避けるためにも、各科目間で平均点に大きな差が生じないことが重要である。しかしながら、上記のような共通テストの実施形式では、各科目の平均点を毎年度均一にすることには限界がある。

- これまでのセンター試験及び共通テストにおいても、同一教科内の科目間で、ある程度の平均点差が生じることは許容されてきた。しかしながら、同一教科内の科目間で極端な平均点差（20点差以上）が生じた際には、社会的な批判を受けたこともあった。

このような同一教科の科目間の試験問題の平均点差による不公平感や混乱等を緩和するため、対象科目間で20点差以上の平均点差が生じ、それが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合に、得点調整を行ってきたものである。

## 2. 令和7年度共通テストにおける得点調整の対象教科・科目

- 令和7年度共通テストにおける得点調整の対象教科・科目を検討するに当たっても、1. で述べたこれまでの得点調整の基本的な目的を引き継ぐべきと考えられる。すなわち、教育課程上の各科目の位置付けを踏まえた上で、同一教科の選択科目のうち、試験問題の難易差により平均点差が大きく開くことで、合否等に多大な影響を及ぼすことが予想される科目間は、従来どおり得点調整の対象とすることが必要と考える。
  
- また、令和7年度共通テストにおいて経過措置科目を出題する教科（地理歴史、公民、数学①、数学②、情報）についても、新教育課程科目と経過措置科目との間で、試験問題の難易差により平均点差が大きく開くことで、合否等に多大な影響を及ぼし、新教育課程履修者と現行の教育課程履修者との間で不公平感や混乱等が生じるおそれがある科目間は、得点調整の対象とすることが必要と考える。